

コンピュータ演習 第7回配布資料

今回のテーマも、「プレゼンテーション」です。

今回は、アニメーションや場面切り替えなど、プレゼンテーションソフトの演出的な機能を実習します。

- イラストや図形を使った、視覚的効果のあるスライドを作成しましょう。
- アニメーションを使って、演出効果をつけましょう。
- (時間があれば)リハーサル機能を使って、スライドを自動的に再生しましょう。

連絡事項

この授業では、学習支援システムの「Moodle」で授業を進めていきます。出席の確認や、課題の提出などに利用します。学内からだけでなく、自宅や外出先からでもアクセスできます。

- アドレス: <https://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/>
- スマートフォンやタブレット端末でも利用できます。



今回の内容

1. [プレゼンテーションの作成\(2\)](#)
 - クリップアートの挿入
 - 図形(オートシェープ)の挿入
 - アニメーションの設定
2. [リハーサル機能](#)

今回の課題

- 課題: [図とアニメによるプレゼンの作成](#)
 - 提出期限: 次回の授業開始まで

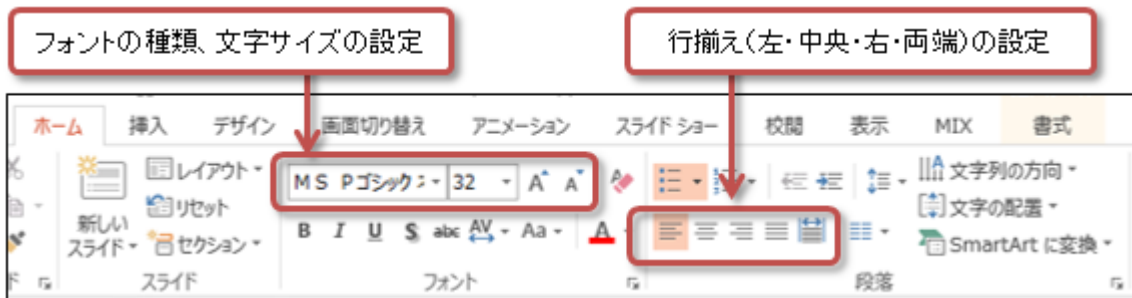
プレゼンテーションの作成(2)

テキストボックスの挿入

1. 「挿入」タブの「テキスト」メニューから「テキストボックス」をクリック（または、「ホーム」タブの「図形描画」メニューから選択）
2. カーソルが表示されるので、挿入したい位置をクリックして、文字を入力

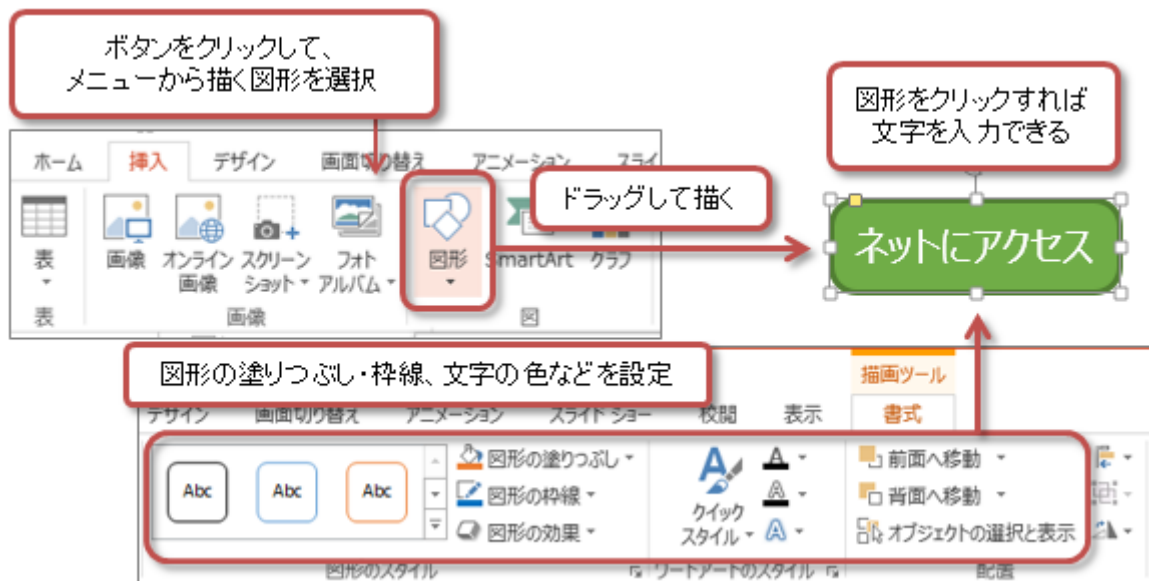


3. 必要であれば、「ホーム」タブ「フォント」メニューにあるボタンで、フォントの種類・サイズを設定



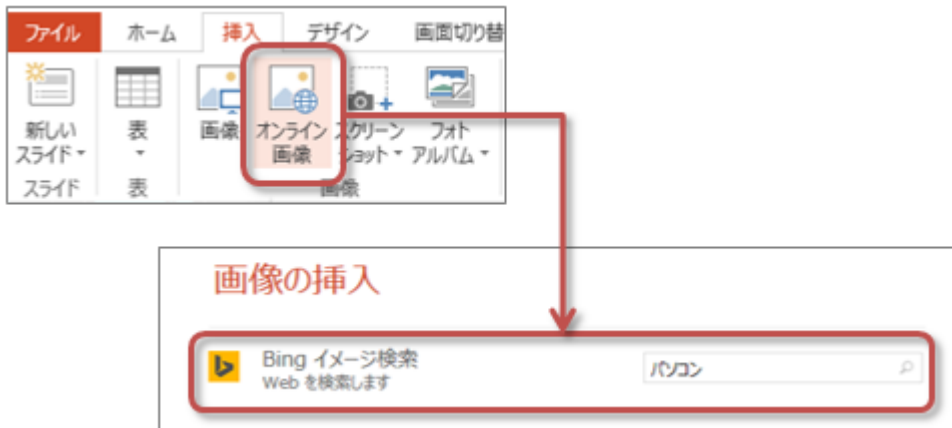
図形の挿入

1. 「挿入」タブの「図」メニューから「図形」をクリック（または、「ホーム」タブの「図形描画」メニューから選択）
2. 挿入したい図形をクリックして選択
3. スライド上でマウスをドラッグすると大きさが選択でき、ドラッグし終わると図形が挿入される
 - 大きさを変更: 四隅や上下左右にある「」をドラッグ
 - 移動: 図形のなかをマウスでドラッグ
 - 回転: 図形の上にある、丸い矢印をドラッグ
4. 「描画ツール」の「書式」タブで、図形の塗りつぶしや枠線の種類・色・太さや効果、文字の塗りつぶしなどを設定



オンライン画像の挿入

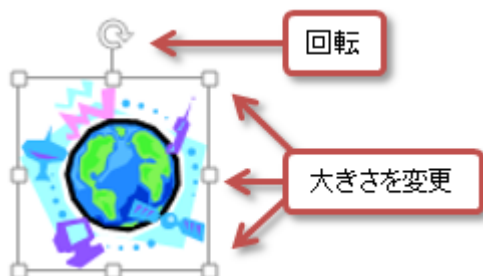
1. 「挿入」タブの「オンライン画像」をクリック
2. 「画像の挿入」ウィンドウが表示されるので、「Bing イメージ検索」の入力欄に、探したい写真・イラストなどのキーワードを入力し、「Enter」キーを押して検索する



3. 検索結果が表示されるので、挿入したいオンライン画像を選択する
「すべてのWeb検索結果を表示」をクリックすると、ライセンス以外の画像が表示される



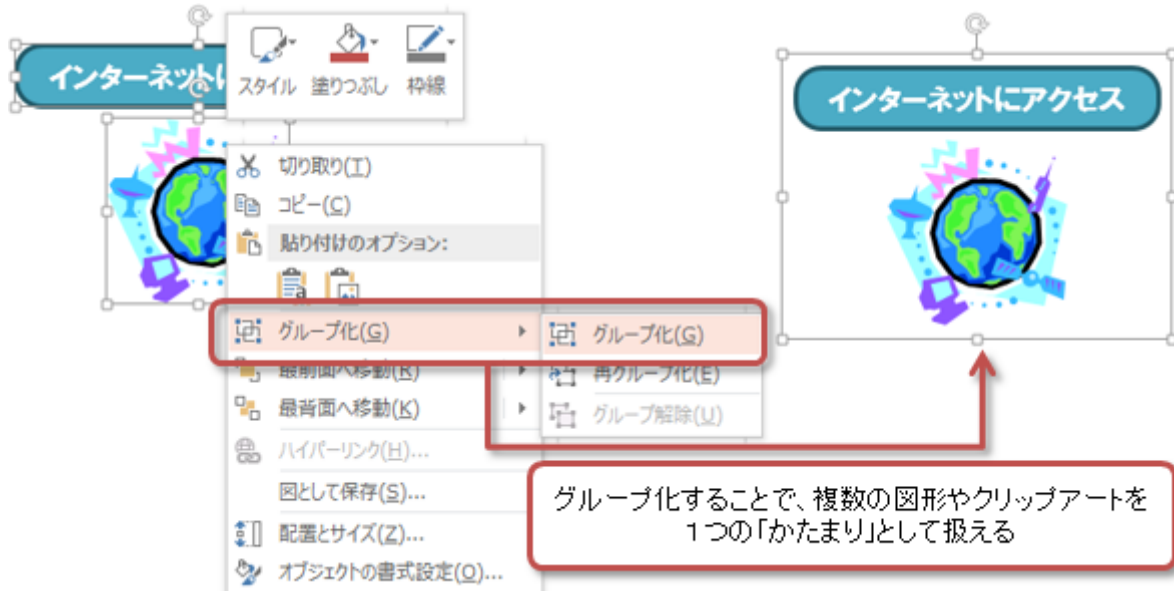
4. 「挿入」ボタンをクリックすると、スライドに画像が挿入される
 - 大きさを変更: 四隅や上下左右にある「」をドラッグ
 - 移動: 図形のなかをマウスでドラッグ
 - 回転: 図形の上にある、丸い矢印をドラッグ



図形をオンライン画像をグループ化する

複数の図形やオンライン画像をグループ化することで、ひとつのグループとしてとして、扱うことができます。

1. 「Shift」キーを押しながら、グループにするクリップアート・図形をクリック
(または、複数のクリップアート・図形を囲むようにドラッグ)
2. マウスを右クリックして、「グループ化」を選択すれば、選択したクリップアートや図形がグループになる
 - グループ化を解除するには、右クリックして、「グループ化」「グループ解除」を選択



アニメーションの設定

スライド上の文字や図形、クリップアートに、アニメーションを設定します。

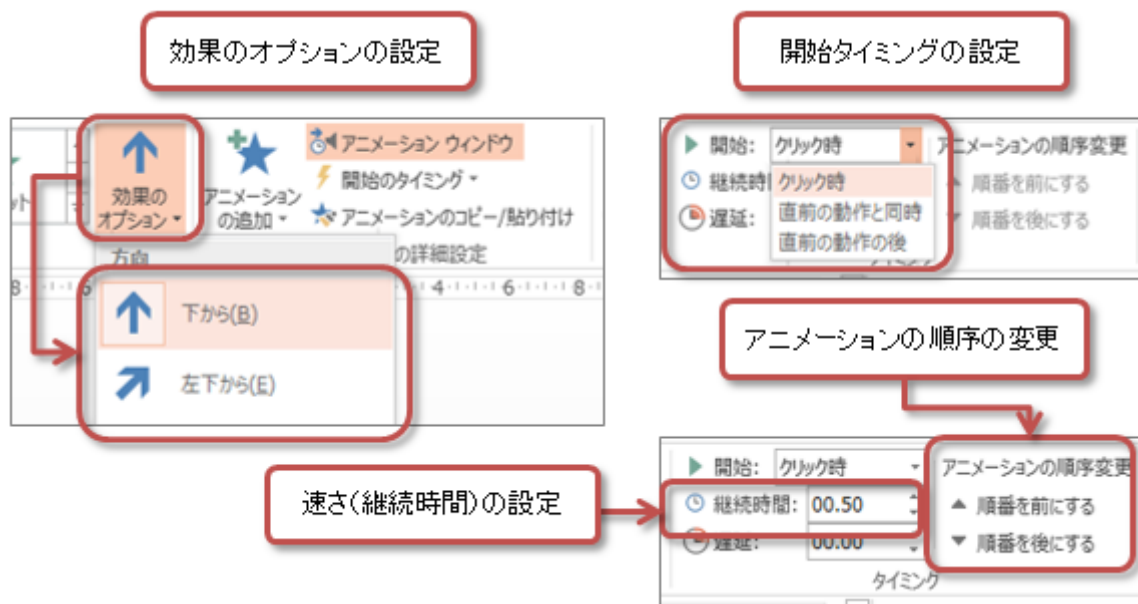
1. 「アニメーション」タブの「アニメーションの詳細設定」メニューの「アニメーションウィンドウ」をクリック
2. アニメーションを設定したい文字や図形、クリップアートを選択する(複数選択も可能)
3. 「アニメーション」メニュー、または、「アニメーションの追加」ボタンをクリック
 - 開始: スライドに現れてくる効果
 - 強調: 指定したものを強調して表示する効果
 - 終了: スライドから消えていく効果
 - アニメーションの軌跡: 指定したものを特定の軌跡で動かす
4. メニューから「その他の 効果」を選択すると、効果の一覧が表示されるので、選択して「OK」ボタンをクリック
5. スライドのなかと右側のアニメーションウィンドウの一覧に、番号つきでアニメーションが登録される



アニメーションの効果のオプション、タイミング・速さなどを設定する

アニメーションを選択した状態で、その効果の設定や速さを設定します。

- 効果の設定(設定できないアニメーションもある)
 - 「アニメーション」タブの「アニメーション」メニューの「効果のオプション」をクリック
 - アニメーションする方向や種類などを設定できる
- 開始タイミングの設定
 - 「アニメーション」タブの「タイミング」メニューの「開始」を設定
 - クリック時: マウスをクリックしたときにアニメーションを開始
 - 直前の動作と同時: 直前の番号のアニメーションと同時に開始
 - 直前の動作の後: 直線の番号のアニメーションの後に開始
- 継続時間(速さ)の設定
 - 「アニメーション」タブの「タイミング」メニューの「継続時間」を設定
 - アニメーションをする時間を、秒単位で設定できる
- アニメーションの順序の変更
 - 「アニメーション」タブの「タイミング」メニューの「アニメーションの順序変更」を設定
 - 順番を早くなる: アニメーションする順番がひとつ早くなる
 - 順番を遅くする: アニメーションする順番がひとつ遅くなる



アニメーションを削除する

設定したアニメーションを削除するには、次のどちらかの操作をします。

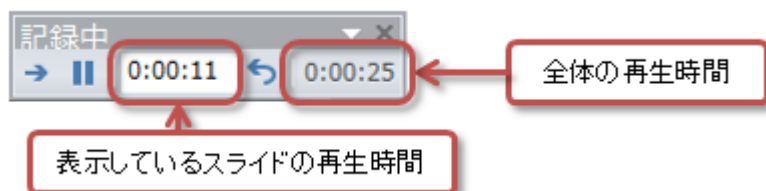
1. 右側のアニメーション・ウィンドウを使う方法
 - アニメーション・ウィンドウの一覧から、削除したい番号のアニメーションを右クリック
 - メニューから、「削除」を選択
2. 「アニメーション」タブのメニューを使う方法
 - 「アニメーション」タブの「アニメーション」メニューの中から、「なし」の効果を選択

リハーサル機能

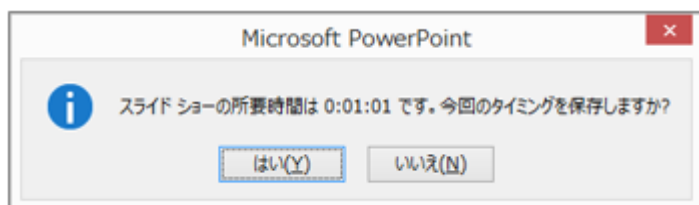
スライドショーのリハーサル

「リハーサル」機能を使えば、マウスをクリックしたタイミングが記録されるので、マウスやキーボードを操作しなくても、作成者が意図したタイミングで自動的にスライドショーが進行させることができます。

1. 「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「リハーサル」をクリック
2. リハーサルが開始され、操作が記録される
 - 画面の左上にタイマーが表示される(中央:そのスライドの再生時間、右:スライドショー全体の再生時間)

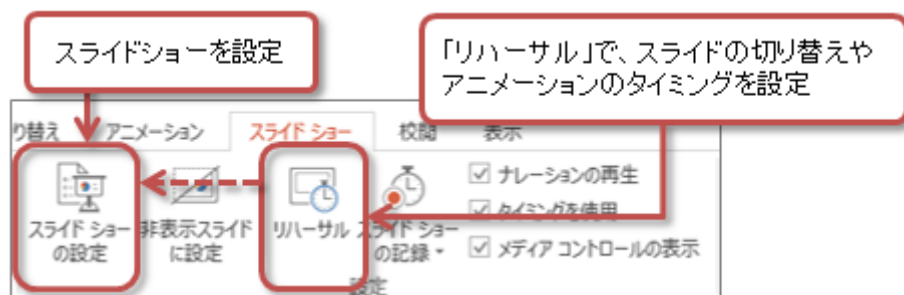


3. リハーサルが終わると、確認の画面が表示されるので、設定する場合は「はい」をクリック(やり直す場合は「いいえ」をクリック)

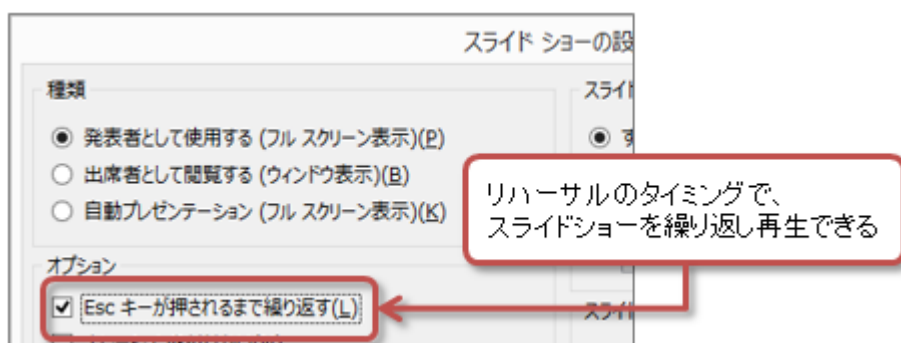


リハーサルあとのスライドショーの設定

リハーサル機能で、タイミングを設定したら、その設定で繰り返しスライドショーを行うように設定します。



1. 「スライドショー」タブの「設定」メニューの、「スライドショーの設定」をクリック
2. 「オプション」に中の「Escキーが押されるまで繰り返す」をチェック



3. 右下の「OK」ボタンをクリック

第7回の課題：図とアニメを使ったプレゼンの作成

課題の内容

今回の課題は、「図形とアニメーションを利用したプレゼン」を作成します。

今回のプレゼンのテーマは、「**私の自己紹介**」とします。自分の地元（出身地）の情報をまとめたり、学生の間に行ってみたいことのランキング、行ってみたい場所（観光地）などを表現します。次の構成で、スライドを作ってください。

- 1枚目 (レイアウト: タイトルスライド)
 - タイトル: **私の自己紹介**
 - サブタイトル: 授業の日付、学籍番号、氏名
- 2枚目 (レイアウト: タイトルとコンテンツ)
 - タイトル: **はじめに**
 - あなたの基本情報 (名前とふりがな、所属学部学科、好きなもの)
 - 「自己紹介のポイント」というテキストボックスを作成
 - 「私の出身地」「行ってみたいこと」「行ってみたい場所」を図形で表現
 - アニメーションを設定
- 3枚目 (レイアウト: タイトルのみ)
 - タイトル: **出身地は「 」** (は自分の地元)
 - 「観る」「食べる」「遊ぶ」「知る」「体験する」の5つのうち、2つのポイントで地元の情報を紹介
 - 図形とテキストボックスで具体的に説明
 - オンライン画像で関連する写真を紹介
 - アニメーションを設定
- 4枚目 (レイアウト: タイトルのみ)
 - タイトル: **行ってみたいこと** (は自分の地元)
 - 学生の間に行ってみたいこと上位5つをランキング形式で紹介
 - 図形とテキストボックスで具体的に説明
 - アニメーションを設定
- 5枚目 (レイアウト: タイトルのみ)
 - タイトル: **行ってみたい場所**
 - 学生の間に行ってみたい場所を紹介 (国内外を問わない)
 - 図形とテキストボックスで、その場所の説明と交通アクセス (最寄り駅から) を説明
 - オンライン画像で関連する写真を紹介
 - アニメーションを設定
- 6枚目 (レイアウト: タイトルのみ)
 - タイトル: **おわりに**
 - 3枚目～5枚目で説明した内容3つを簡潔にまとめる
 - 図形とテキストボックスで、3つのポイントを説明
 - アニメーションを設定

課題のポイント

それぞれのスライドには、**次に指定する操作・設定がされていること**とします。

1. すべてのスライドでデザインやレイアウトを統一して設定する
 - 設定はを自由に選択してよい

2. フォントや文字の大きさ・色などは、すべてのスライドで**できるだけ統一**

- 大きさや色は、自由に選択してよい

3. アニメーションは設定しすぎない

- シンプルで、単純に(「KISSの原理」で:Keep it short and simple.)

4. 授業中に説明があれば、次の設定も行うこと

- リハーサル機能の利用(スライドショーを1分程度できるように設定)

また、デザインやレイアウトの5つの法則にも注意してください。

- [法則1]余白を十分にとる
 - 余白を十分にとったゆとりのある配置で、見やすく読みやすくする
- [法則2]揃えて配置する
 - 文字や図形などを意識的に揃えて配置し、きれいに見せる
- [法則3]グループ化する
 - 関連する内容同士を近づけて、わかりやすい構成にする
- [法則4]強弱をつける
 - 内容の重要性に応じて目立ちやすさを変えて、パッと見てわかるようにする
- [法則5]繰り返す
 - プレゼン内で同じパターンを繰り返して、統一感をもたせる

課題の提出方法

ファイルの保存

- ファイル名:「0523」+「学籍番号」+「.pptx」を設定(半角文字で)
 - 例:学籍番号がT2241000の場合、ファイル名は「0523t2241000.pptx」

課題をファイルに保存するときには、次のように操作してください。

1. 「ファイル」タブをクリックして、「名前を付けて保存」を選択
2. 保存する場所に「このPC」を選択した後、「参照」をクリック
3. ウィンドウが開いたら、保存する場所(「デスクトップ」や「ドキュメント」などのフォルダ)を選択して、指定されたファイル名を入力する
4. 「保存」ボタンをクリックすると、ファイルに保存される

課題の提出

保存できたら、Moodleの授業のコースにある提出先へアップロードして、課題を提出します。

1. 『第7回の課題』をクリック
2. 「提出物をアップロード・入力する」ボタンをクリック
3. 「ファイル提出」の中にある「ここにドラッグ&ドロップして...(省略)」という場所に、ファイルをドラッグ&ドロップ
4. ファイルが登録されたら、「この状態で提出する」ボタンをクリックすれば、提出完了!

課題の期限

- 次回の授業開始時間までとします。
- 提出期限を過ぎても、必ず提出すること(あまり遅すぎると成績に影響する場合があります)。